

[科目名] 特別支援教育論				[単位数] 1 単位	[科目区分] 教職科目(必修)		
[担当者] 天海 丈久		[オフィス・アワー] 時間:授業時 場所:講義室			[授業の方法] 講義		
[科目の概要] インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育に関する制度や理念、発達障害等のある児童生徒の障害特性や対応する教育課程、支援方法について学ぶ。また、貧困や外国につながる児童生徒等、特別な教育的ニーズのある児童生徒の困難やその支援について学ぶ。							
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] 発達障害をはじめとする様々な障害等により、特別の支援を必要とする児童生徒は通常の学級にも在籍しているが、彼らが授業等の学習活動に主体的に参加し学ぶことができるよう、障害特性や学習上又は生活上の困難を理解したうえで、一人一人の教育的ニーズに対し、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していく必要がある。本科目を学ぶことで、これらの対応に必要な最低限の知識や支援方法が理解できる。							
[科目の到達目標] 1. インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解し、発達障害等をはじめとする特別の支援を必要とする児童生徒の心身の発達、心理的特性を理解する。 2. 児童生徒に対する教育課程や学習上又は生活上の困難に対応する支援の方法について理解する。 3. 障害はないが、貧困等の問題により特別の教育的ニーズのある児童生徒の学習上又は生活上の困難と対応について理解する。 4. 組織的な対応の必要性を理解する。							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
学部				学科			
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] 「進みがちょっと速い」という意見がありましたが、本科目は学修内容が多いため、テキストは内容が精選されたものを選んでいきます。また、予習・復習をしっかり行っていただきたいこと、講義中は学生の皆さんが考える時間を確保できるようにすることから、講義資料も事前に配布しています。予習はしっかり行うようにしてください。 「テストの持ち込みを有りにしてほしい。テキストではなく自筆のものに限る、など。」という意見がありましたが、試験問題は事前にお知らせするので、しっかり学修し、試験に臨むようにしてください。							
[教科書] ※必ず用意して講義に臨むこと。 京都教育大学教育創生リージョナルセンター機構 総合教育臨床センター監修(2024)『新訂版 教員になりたい学生のためのテキスト特別支援教育』クリエイツかもがわ:978-4-86342-367-1							
[指定図書] 文部科学省(著)『特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』海文堂出版。 文部科学省(著)『特別支援学校高等部学習指導要領』海文堂出版。 文部科学省(編集)『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)』開隆堂。 文部科学省(編集)『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則等編(幼稚部・小学部・中学部)』開隆堂。 文部科学省(編集)『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部)』開隆堂。 文部科学省(編集)『特別支援学校学習指導要領解説 総則等編(高等部)』ジエース教育新社。 文部科学省(編集)『特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編(上)(高等部)』ジエース教育新社。							

文部科学省(編集)『特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編(下)(高等部)』ジエース教育新社.	
〔参考書〕 授業で適宜紹介する。	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 期末試験(筆記試験)(90%)・授業への積極的な参加度(10%)を目安として、総合的に評価する。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 発達障害等により、特別の教育的ニーズのある児童生徒は通常の学級にも在籍しているため、全ての教員が特別支援教育に係る最低限の知識と技能を有している必要がある。課題意識をもち、積極的に授業に参加していただきたい。	
〔実務経歴〕 特別支援学校(知的障害・肢体不自由・病弱)及び教育行政での勤務経験も踏まえ、具体的な事例も取り上げながら講義を進める。	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか):特別支援教育の歴史の変遷と障害の概念 内 容: ・特別支援教育の歴史 ・特別支援教育の法制度と理念 ・国際生活機能分類(ICF) ・合理的配慮 ・インクルーシブ教育システム ・特別支援教育体制の支援の仕組み 教科書(第 14・1・2・章)
第 2 回	テーマ(何を学ぶか):特別の支援を必要とする児童生徒に対する教育課程や支援方法 内 容: ・特別支援教育の対象となる児童生徒 ・通常の学級における支援 ・通級による指導 ・自立活動の指導 ・特別支援学級の教育 教科書(第 3・9・10・11 章)
第 3 回	テーマ(何を学ぶか):発達障害児(限局性学習症、注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症)の理解と支援 内 容: ・発達障害児の発達と心理特性 ・発達障害児の基本的な支援方法 教科書(第 4・5 章)
第 4 回	テーマ(何を学ぶか):視覚障害児、聴覚障害児、知的障害児、肢体不自由児、病弱児の理解と支援及び特別支援学校の教育 内 容: ・視覚障害児、聴覚障害児、知的障害児、肢体不自由児、病弱児の理解と支援 ・特別支援学校の概要と教育 教科書(第 6・12 章)
第 5 回	テーマ(何を学ぶか):虐待・貧困・外国につながる児童生徒の理解と支援 内 容: ・障害以外のことを理由とする特別な教育的ニーズ ・貧困・虐待・外国につながる児童生徒の理解と支援 教科書(第 15 章)
第 6 回	テーマ(何を学ぶか):個別の教育支援計画、個別の指導計画とカリキュラム・マネジメント 内 容: ・アセスメント ・個別の教育支援計画と個別の指導計画の役割 ・カリキュラム・マネジメントの充実に向けて 教科書(第 7・8 章)
第 7 回	テーマ(何を学ぶか):家庭や関係機関との連携 内 容: ・家庭との連携 ・福祉との連携 ・医療・労働等との連携 教科書(第 13 章)
試 験	期末試験(筆記試験)